

研究に関するお知らせ

研究課題名：切除組織を用いた大腸および腹膜病変の生物学的特性解明研究

研究責任者：臨床ゲノム腫瘍学分野 古川 洋一

研究の目的：

大腸腫瘍や腹膜腫瘍に対する治療法や予防法、個々の腫瘍の最適な治療法を提供する方法の開発を目的として、標記研究を実施いたします。

この研究では、下記のような患者様の手術時の切除標本や診療記録等が必要となります。つきましては、下記に該当する患者様の試料及び診療情報を使わせていただきますこととお知らせいたします。

対象となる患者様：

以前に、東京大学医科学研究所附属病院で実施した「個別化医療開発のための大腸腫瘍の遺伝子解析研究」（承認番号：26-67-1118）にご同意いただき、且つ、研究終了後もご提供いただいた検体（手術検体、内視鏡検体、採血検体）を倫理審査委員会で承認を受けた医学研究に使用することについてもご同意をいただいた患者様。

ご協力いただきたいこと：

上記研究のためにご提供いただきました検体（手術検体、採血検体）、採取された血液、手術摘出標本などの検体から抽出した DNA、RNA などの試料、ならびに診療情報（病名、病期、治療の内容と効果、副作用など）を本研究に利用させていただくことです。個人情報につきましては、上記の研究で行った匿名化を維持して、厳重に管理いたしますのでご安心ください。また、検体から抽出した DNA のメチル化解析の一部を千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学講座にて実施いたしますが、その場合も個人情報や診療情報は千葉大学には提供いたしません。

研究期間：

平成 29 年 6 月 14 日～令和 4 年 5 月 31 日

研究に関するご質問等がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

また、ご自身の試料および診療情報が本研究に利用されることを望まない場合には、下記の連絡先又は研究倫理支援室（電話：03-6409-2035）までご連絡ください。

<連絡先>

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1

東京大学医科学研究所

臨床ゲノム腫瘍学分野 古川 洋一

電話：03-3443-8111（代表）03-6409-2100（直通）